

委員会レポート

14年度決算審査
予算の執行は適正か



本定例会では、平成14年度決算の内容について、各常任委員会で審査が行われました。ここに掲載したのは、そこで出された意見や要望の概要です。

【一般会計決算】

決算審査を通じて、総務委員会の一致した意見は次の2点です。

一つは、決算についてです。決算は、いくら入って、いくら使ったかというだけでなく、事業が、その数字から、事業を拡大するか、縮小するかといった評価をし、来年度予算編成につなげていくことに本来の目的があると思われませんが、決算審査においては、そうした姿勢があまり見られませんでした。予算が事業別になつたことでもあり、決算において



決算本来の目的は

その事業の検証を要望するものです。

もう一つは、E-T関係経費についてです。E-T関係で数多くの委託がされていますが、何でも委託するのではなく、職員みずから手がけるよう促すこと、委託する場合は、委託料が適正かどうか、予算編成の段階で第三者がチェックする機会を設けるべきであるといわれています。

電子市役所の構築は始まったばかりであり、今後の経費増大に備え、今後の必要があるとして、要望するものです。

【建設】

ちびっ子プール・運営方法の検討を

【一般会計決算】
道路新設改良費では、10年経過後の私道舗装について質疑が交わされ、執行部から、生活道路として支障を来す状況であれば、再舗装に柔軟に対処すべきと考えているとの見解が示されました。

【公共下水道特別会計決算】
水洗便所改造資金融資・補助条例が現状にマッチしているかとして、利用状況等について質疑が交わされた結果、執行部から、実態を調査して、制度内容を検討してみたいとの答弁がありました。

公園費では、ちびっ子プール設置要綱は昭和47年1月施行で、約30年を経過し、現在は、管理運営のための人員確保や、補助金が少ないなどの問題を抱えているのが実情のようであり、委員からも種々の実態が述べられ、意見を交わしました。

その結果、ちびっ子プールは、他市にはない、戸田市独自の施設であり、たくさん幼児に利用されることを望ましいこと

【厚生】

国民健康保険制度の趣旨に即した税の収納対策を

【一般会計決算】
心身障害者福祉センター費では、管理運営委託料の主な不用額が、空調設備の劣化による光熱費であることに対して、劣化している空調設備は早く正常に戻したいとの説明がありました。



心身障害者福祉センター

保育園費では、民間と公立の児童1人当たり保育コストの差による今後の市立保育園運営のあり方や、給食調理業務の委託業者の選定経過、従業員体制、事業内容等の質疑を交わしました。

【国民健康保険】
特別会計決算】
税の収納状況について、国民健康保険制度の趣旨である相互扶助、税負担の公平性等の観点から、さまざまな問題を提起し、執行部の考えをいただきました。



夏はちびっ子でいっぱい

【民生】

国民健康保険制度の趣旨に即した税の収納対策を

【一般会計決算】
心身障害者福祉センター費では、管理運営委託料の主な不用額が、空調設備の劣化による光熱費であることに対して、劣化している空調設備は早く正常に戻したいとの説明がありました。

文教経済

彩湖自然学習センターの事業充実を

【一般会計決算】
市民保養所費では、運営委託で細部が目につかない状況が見受けられるので、施設の実態把握に努めたいとの意見、費用対効果の面から実利用人員を把握し、料金設定を検討されるよう意見がありました。

事業充実を

中学校、学校管理費の社会体験マレージ事業では、生徒の希望を可能な限り取り入れて、将来の夢が広がるような活動へ充実発展されるよう意見がありました。

【一般会計決算】
財政力指数は1.195となり、13年度より0.031上がり、本市の財政力が引き続き果下1であることを示しています。



熱心に聴いていますね

【反対】

日本共産党
望月 久晴議員

14年度の歳入は、法人市民税が大きく落ち込み個人市民税は伸び悩んでいます。固定資産税は引き続き伸びています。

【一般会計決算】
最終日の本会議で、一般会計決算について討論が行われ、採決の結果、認定されました。要旨は、次のとおりです。

14年度一般会計では、自立支援ホームの建設や福祉センター施設、学校施設等の改善、保健事業の拡大、水害対策の推進など、市民の要求に基づいた施策も行われていますが、財政運営を効率化すれば、もっと市民の要求に応えられたはず

【賛成】

平成会
伊東 秀浩議員

14年度のが国の経済は、景気に一部改善の動きがみられましたが、後半にかけ、デフレ・株価低迷の影響並びに過去最悪の完全失業率等が最急需要の下押し要因となり、景気はほぼ横ばいで推移しました。

【一般会計決算】
心身障害者福祉センター費では、管理運営委託料の主な不用額が、空調設備の劣化による光熱費であることに対して、劣化している空調設備は早く正常に戻したいとの説明がありました。

14年度決算 適正かつ効果的な執行と認める

【一般会計決算】
心身障害者福祉センター費では、管理運営委託料の主な不用額が、空調設備の劣化による光熱費であることに対して、劣化している空調設備は早く正常に戻したいとの説明がありました。

監査報告

【一般会計決算】
心身障害者福祉センター費では、管理運営委託料の主な不用額が、空調設備の劣化による光熱費であることに対して、劣化している空調設備は早く正常に戻したいとの説明がありました。